

令和2年度取組報告

1. 家庭における食育の推進

(1) 健やかな心と体を育む生活習慣の形成

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
朝食を摂ることや早寝早起きを実践することなど、子どもの健やかな生活習慣の形成のため、「早寝早起き朝ごはん」の運動等を学校や地域等の協力を得ながら推進します。	健康・子育て支援室	地域の広場において、早寝早起き朝ごはんを基本とした生活リズム定着の必要性について情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の広場」での食育講座の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大部分が中止となりました。 名張市食生活改善推進員実施分（4回） 市管理栄養士実施分（1回） ・つつじが丘地域が小中学生向けに「にぎりとお味噌汁を調理する講座を開設しました。
	学校教育室	学校からの通信や学校ホームページ等を活用し、朝食をとることや、早寝早起きなど基本的な生活習慣の形成ができるよう、地域や保護者へ啓発します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝早起き朝ごはん」について、学校からの通信や学校ホームページ等を活用し、保護者や地域に啓発を行いました。 ・PTA連合会と連携して生活習慣・読書習慣チェックシートを用いた生活改善を促す取組を引き続き行いました。
妊娠期及び授乳期における望ましい食生活の実現のため、「妊産婦のための食生活指針」等を活用した栄養指導を行います。	健康・子育て支援室	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳発行教室において栄養指導を実施します。 ・妊産婦が受診した健診の結果に応じた栄養指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳発行教室において栄養指導を行いました。（49回） ・妊婦健診の結果を基に妊婦への栄養指導を行いました。（3人）
「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、妊産婦や子どもに関わる多機関、多職種の保健医療従事者が授乳及び離乳に関する基本的事項を共有し、妊娠中から離乳の完了に至るまで、支援内容が異なることのないよう一貫した支援を推進します。	健康・子育て支援室	妊産婦や子どもに関わる多機関・他職種の関係者を対象に、「授乳・離乳の支援ガイド」の周知を図ります。	子育て支援員研修において離乳食についての講義を行いました。
乳幼児健康相談や乳幼児健康診査等において、健やかな生活習慣の形成に向けた基本的な生活や食習慣についての指導を行います。	健康・子育て支援室	乳幼児健康相談、1歳6か月児健康診査、3歳6か月児健康診査において、基本的な生活や食習慣についての指導します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各健康診査及び離乳食教室において指導を行いました。 乳幼児健康相談（10回） 1歳6か月児健康診査（24回） 3歳6か月時健康診査（23回） 離乳食教室（11回） ・3歳6か月時健康診査では、「早寝早起き朝ごはん」のリーフレットを用いて管理栄養士が指導を行いました。

(2) 豊かな食生活を送るための望ましい食習慣の定着

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
子どもが料理をする体験を通じて、望ましい食習慣を学び、食事を楽しむ機会を提供する活動を進めます。	健康・子育て支援室	子どもを対象とした料理教室を開催します。 (変更) 子育て中の人を対象とした料理教室を開催します。	食育講座を開催しました。(全2回) 第1回：9月8日 「おいしい野菜料理を作ろう」 (6人参加) 第2回：11月10日 「おいしい野菜スイーツを作ろう」 (9人参加)
	文化生涯学習室	放課後子ども教室の事業の中で、地域の伝統料理を学ぶ機会を提供します。 (変更) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。	放課後子ども教室において地域の伝統料理を学ぶ機会を提供を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
家族等と食卓を囲み、楽しく食事をし、コミュニケーションを図る「共食(トモシヨク)」の推進に取り組みます。	健康・子育て支援室	市民を対象に「共食(トモシヨク)」の周知を図ります。	市ホームページ「健康・福祉」のカテゴリーに食育のページを作成し、「共食するとどんないいことがあるの？」(農林水産省)にリンクをし、周知しました。
食に関する学習や体験活動を通じて、家庭と地域等が連携した食育の推進を図ります。	子ども家庭室	食に関する学習や体験の機会を提供する活動を支援します。	・ひとり親家庭へフードパントリー(食料品の無料配付)を行いました。(7回) ・すずらん台地域が子ども食堂「なかよし食堂」を開設しました。

2. 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進

(1) 学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
各学校では食育担当者を位置付け、校内食育推進体制を整えるとともに、学習指導要領に基づき、各学校で作成された食育全体計画・年間指導計画により食育を推進します。	学校教育室	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で作成する「学校教育計画」のうち、「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」を見直し、取組を進めます。 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、本推進計画の確認とともに各校（園）の情報交換を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の食育担当者へ「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間計画」を基に指導・助言を行いました。 市内の学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
給食や昼食の時間、家庭科・特別活動はもとより、各教科や道徳科、総合的な学習の時間等を活用し、体験活動を取り入れながら食育を推進します。	学校教育室	<ul style="list-style-type: none"> 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園の食育担当者等による実践の交流で情報交換を行い、各校での取組に取り入れていきます。 地域住民とのつながりを深め、地域や保護者とともに体験活動を生かします。 体験活動で得た成果を、学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。 	地域や保護者と連携し、体験活動として野菜の栽培や田植えを実施し、活動成果を学校からの通信や学校ホームページで発信しました。
肥満とやせが心身の健康に及ぼす影響など健康状態の改善に必要な知識を普及するとともに、食物アレルギー等、食に関する健康課題を有する子どもに対する個別相談体制を充実させます。	教育総務室	健康状態の保持増進及び改善に必要な情報を学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における健康管理も含め、健康状態の保持・増進及び改善に必要な情報を保健だよりや給食だより等で発信しました。 食物アレルギーを有する児童の保護者と面談を行い、学校での対応について協議しました。
効果的な食育推進を図るため、学校、家庭、地域、関係団体等が連携し、協力した取組を推進します。	学校教育室	「食育実践交流会」において、地域や各種団体との連携を基にした実践や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、各校の取組に生かします。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭への「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発を地域・学校が同時に実施したことで成果が見られた学校がありました。 学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
栄養教諭の専門性を活用する等、食に関する指導の充実に取り組み、家庭での食習慣の定着が図られるよう、学校から家庭に食育に関する情報提供を行います。	学校教育室	担任と栄養教諭が連携しながら、朝ごはんの大切さや食事のマナー等、食の指導を行い、どのような指導が行われたのか学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。また、朝食メニューコンテストへの積極的な参加を啓発します。	各学年ごとに栄養教諭による朝ごはんの大切さや食事マナーの指導を行い、指導内容について学校からの通信や学校ホームページで発信し、児童が学んだことを家庭と共有しました。

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
食物アレルギー疾患を持つ児童に対しては、児童の実態を把握した上で、除去食対応等安全な学校給食を提供します。	教育総務室	食物アレルギーがある児童には、「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応します。	食物アレルギーがある児童へ「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応しました。
地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を推進することで、名張の自然、文化、産業等に対する児童の理解を深めるとともに、それらの生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みます。	教育総務室	納入業者・生産者との調整を図り、引き続き「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」を推進します。また、これらの日以外においても地場産物の活用を意識し取り組みます。	「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行いました。 バリっ子給食（24回） みえ地物一番給食の日（20回） みえの畜水産物学校給食活用促進事業（6回）
学校給食において郷土料理等の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、和食の継承を推進します。	教育総務室	郷土料理や行事食等を食に関する指導の全体計画に組み入れ、計画的に学校給食で提供し、和食の継承を推進します。	児童へ和食文化を伝えるため、行事食や伝統料理、昔から食べられてきた食材を使用した献立の作成、和食の献立の多く取り入れました。 5月「さびらきごはん」 6月「かたやき」 7月「七夕にゅうめん」 10～2月「のっぺい」 1月 正月献立 「さびらきごはん」と「かたやき」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、給食で提供することができませんでした。
中学校給食の実施に向けた取組を進めます。	教育総務室	中学校給食の実施に向けての給食会計の公会計化や、給食施設の整備手法等を検討します。	給食会計の公会計化について、他市の状況も確認しながら、システムの導入等を検討しました。

(2) 幼稚園・保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、各幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等で作成された食育計画に沿った食育を推進します。	保育幼稚園室	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定を踏まえ、各幼稚園、保育所（園）、認定こども園で作成された食育計画に基づき食育を推進します。 ・学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園の食育担当者等による実践交流会に参加し情報交換を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼保施設（29施設）における食育計画に基づき食育を推進しました。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、蔵持こども園の食育実践報告は、令和3年度に延期しました。
自ら進んで食べようとする気持ちを育てるために、食べ物への興味や関心を高める活動を取り入れます。	保育幼稚園室	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育活動の中で、食べ物への興味や関心を高める活動を多く取り入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に関する絵本や玩具などの利用や制作、園庭での米や季節の野菜を栽培するなど、年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食べ物への興味や関心を高める取組を行いました。 ・11月24日の「和食の日」に合わせて、同月25日の給食に「だし」を使った献立「さつまいもの味噌汁」を取り入れ、児童に「だし」について講話を行いました。
自然の恵みとしての食材や、調理してくれた人への感謝の気持ちを育むよう努めます。	保育幼稚園室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や保護者の協力を得ながら栽培活動を多く取り入れます。 ・栽培、収穫した食べ物を給食に取り入れることにより、自然の恵みとしての食材料を実感し、感謝の気持ちと命を大切にする気持ちを育む取組を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭での米や季節の野菜の栽培、食事の前の「いただきます」の挨拶など、年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食材や調理してくれた人への感謝の気持ちを育む取組を行いました。 ・保育所・認定こども園、地域型保育施設（26施設）において寄贈されたお米を給食でいただき、お礼の手紙を送りました。

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
友達と楽しく食べられるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛けます。	保育幼稚園室	クラスごとに教室で食べるだけでなく、異年齢で一緒に食べる機会を設けるなどして、食事が楽しいコミュニケーションの場となる様に取り組みます。 (変更) 新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら、楽しく食事ができるよう和やかな雰囲気づくりを心掛けます。	昼食やおやつ時間は、園児と園児の距離をとる配置や、パーテーションを設置するなど新型コロナウイルス感染症の感染予防を図り、子どもたちが楽しく食事できる和やかな雰囲気づくりに取り組みました。
地域の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談への対応や情報提供等に努めるほか、地域の関係機関等と連携しつつ、積極的に食育を推進します。	保育幼稚園室	在宅の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談の対応及び情報提供に努めます。	国津出張なかよし広場においてレシピ紹介、食に関する相談への対応を行いました。 6月17日 玉ねぎのレシピ紹介（8組16人） 7月15日 じゃがいものレシピ紹介（6組13人） 10月28日 さつまいものレシピ紹介（13組27人）
子どもの発育及び発達過程に応じた食事の提供、食育の実施が行えるよう家庭や地域の協力を得ながら推進します。	保育幼稚園室	家庭との連絡を密に取りながら、子どもの発育及び発達過程に応じた食事を提供するように努めます。	・保護者から家庭での様子をこまめに聴取し、子どもの発育及び発達に応じた食材の選択、調理形態に配慮しました。 市の統一献立使用施設 11施設 園独自献立 15施設 ・各幼保施設における食育計画に基づき、各年齢に応じた食育活動を実施しました。3歳以上児は、保育所、地域の畑で地域の協力を得て栽培に取り組みました。
給食献立には、旬の食材を活用し、様々な食材が味わえるようにするとともに、手作りを心掛けます。	保育幼稚園室	栄養価が高く、美味しい「旬」の食材を献立に活用し、様々な食材を味わえる給食献立の作成に努めます。また、手作りの給食が提供できるよう心掛けます。	・春はなばなやタケノコを使った献立を作成し、夏はスイカ、秋は柿をデザートとして取り入れました。 ・中秋の名月（10月1日）にはお月見団子を手作りおやつに取り入れました。

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
<p>保護者との連携を密にし、離乳食やアレルギー対応食など子どもの状況に応じた給食の提供に努めます。また、給食試食会や献立表を通じて食に関する情報提供を行います。</p>	<p>保育幼稚園室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離乳食やアレルギー対応食などは、保護者との連携を密に取りながら提供します。 ・ 給食試食会や献立表を通じて保護者への食に関する情報提供を行います。 <p>(変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レシピ紹介や食育だより、献立表を通じて保護者への食に関する情報提供を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食試食会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部の施設を除きを中止しました。 ・ 簡単なおやつレシピ紹介や食育だより、献立表を通じて保護者への食に関する情報提供を行いました。

3. 地域及び職場における食生活改善のための取組と食文化の継承

(1) 健康寿命の延伸に向けた取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた「日本型食生活」の実践を促進します。	健康・子育て支援室	「日本型食生活」に関する情報を、市ホームページ等で発信します。	市ホームページ「健康・福祉」のカテゴリに食育のページを作成し、「日本型食生活のススメ」（農林水産省）にリンクをし、周知しました。
市内の高校等と連携をとり、「日本型食生活」の実践に向けた具体的な取組の情報提供を行います。また、生徒・学生が自ら発信することで、情報拡散へとつなげる取組を支援します。	健康・子育て支援室	高校等における食育の取組についての情報を収集します。	高校等での食育の取組について情報収集の方法等を検討しました。
健康づくりを推進する計画である「健康なばり21計画」を通して、健全な食生活の実践につながる取組を推進します。	健康・子育て支援室	生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点をおいた取組として、健康教室等で健全な食事や運動について指導します。	集団特定健診の結果説明会において食生活や生活習慣について指導しました。
歯と口腔の健康づくりの推進を目的とした「歯と口腔の健康づくり計画」と連動し、食育を推進します。	健康・子育て支援室	口腔機能の低下による低栄養を防ぐため、オーラルフレイルの重症化予防に取り組みます。	・地域の健康教育で、オーラルフレイルについて啓発しました。 ・集団特定健診の結果説明会において75歳以上のオーラルフレイル指導対象者へ歯科衛生士が個別指導を行いました。（56人）
低栄養予防やフレイル予防といった高齢者の活力を維持する食育を推進します。	介護・高齢支援室	単身・高齢者世帯の方に、市の配食サービス事業や各地域での配食ボランティア活動により、栄養バランスの取れた食事の提供を継続して行っていくとともに、低栄養予防やフレイル予防に係る啓発を行います。	・市配食サービス（週3回まで） 平均利用者数 133人 延べ16,993食 ・配食ボランティア（概ね週1回） 8地域・8団体 利用者数430人 延べ配食数15,389食 （新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、市民センターが使用できない期間があり、昨年度よりも利用者数、延べ配食数が減少しました。） ・10月、11月に実施する民生委員児童委員による高齢者実態調査においてフレイル予防啓発のチラシを対象世帯（70歳以上の単身世帯、75歳以上の高齢者世帯等）へ配付しました。（4,724世帯）

3. 地域及び職場における食生活改善のための取組と食文化の継承

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
低栄養予防やフレイル予防といった高齢者の活力を維持する食育を推進します。	健康・子育て支援室	フレイル予防の取組として健康教室等で食事や運動について指導します。	集団特定健診の結果説明会にて75歳以上でBMI18.5以下の対象者に個別に栄養指導を行いました。(15人)
栄養成分表示を活用し、自分に応じた食品を選択できることで、減塩や肥満予防等の健康づくりを推進します。	健康・子育て支援室	健康教室等で健全な食事や食品の選択について指導します。	高齢者対象のサロン等にて栄養バランスの取れた食事や食品の選択についての講義を行いました。
地域で活動する食育の推進に関わるボランティア(「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」等)の活動を支援します。	健康・子育て支援室	食育の推進に関わるボランティアとして活動している人を対象に、フォローアップ研修を行います。	フォローアップ研修等を行いました。 ・2月25日 食育の推進に関わるボランティアフォローアップ研修会 ・3月29日 映画上映会「いただきます ここは、発酵の楽園」(27人)
企業等と連携を取り、生活習慣病の予防及び改善や健康づくりにつながる健全な食生活の実践に向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	健全な食生活実践を啓発するための情報を企業に提供します。	令和元年度に企業を対象に実施した「がん検診に関するアンケート」の結果を報告するとともに、市実施のがん検診や健康教育等の紹介を行いました。
まちじゅう元気!!リーダー、地域づくり組織等の様々な団体と、多様に連携、協働し、自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	まちじゅう元気!!リーダー等の活動を支援します。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンラインでの取組を行いました。 ・11月18日 活動報告会 ・3月24日 体操や栄養に関するオンライン研修会(158人) ・3月29日 映画上映会「いただきます ここは、発酵の楽園」(27人)

(2) 食の安心・安全に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
生産から消費までの食べ物の循環を意識し、健康な生活や環境に配慮した適切な「食」の選択が行えるよう、食品の安全性に関する情報を提供します。	市民相談室	情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を実施します。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
国・県等と連携を図り、食の安心・安全確保のための情報提供を行います。	農林資源室	三重県と連携し、農場におけるGAP(農業生産工程管理)認証の取得を支援し、農産物の安全を確保し、より良い農業経営を推進します。	環境保全型農業直接支払交付金事業や伊賀農業改良普及事業協議会等の活動を通じ、食品安全、環境安全、労働安全等に取り組むGAP認証の取得を推進しました。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	市民相談室	情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を実施します。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	商工経済室	経過措置期間が満了した新「食品表示法」に適合した表示を事業者ができるよう支援します。	伊賀保健所と連携し、市内加工業者へアレルギーや栄養成分の表示が新「食品表示法」のルールに沿った表示ができていないかを添削確認、指導を行いました。

(3) 食文化の継承に向けた食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
料理教室や体験活動等に、郷土食や伝統料理を取り入れることにより、食文化の普及と継承につなげます。	地域経営室	地域づくり組織等に体験活動等、食文化継承に関わる視点を取り入れるよう呼びかけます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を工夫して行いながら住民が参加できるよう周知の協力をします。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、稲刈り体験など屋外での活動は一部実施されましたが、料理教室や食事を提供するイベントの大部分が中止となりました。また、飲食しながらの交流ができない分、テイクアウトにしたり、料理レシピを配布したりするなど工夫した取組を行った地域もありました。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室の事業の中で調理体験を行います。 (変更) 新型コロナウイルス感染症感染の拡大防止のため中止しました。	放課後子ども教室において調理体験を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」で郷土食や伝統料理について知り、子どもたちが体験を通して学びきっかけをつくります。	学校給食の献立に郷土料理や地元食材を取り入れ、郷土への理解や関心の喚起を図りました。
共食（トモシヨク）を通して、和食、食事のマナー等の食習慣が受け継がれていくように取組を支援します。	健康・子育て支援室	共食（トモシヨク）と併せて、和食や食習慣の情報を発信します。	市ホームページ「健康・福祉」のカテゴリーに食育のページを作成し、「共食するとどんないいことがあるの？」（農林水産省）にリンクをし、周知しました。
食品関連事業者等と連携し、名張の食文化の魅力の再発見に取り組みます。あわせて、世界の食文化やフードダイバーシティ（食の多様性）についての理解を促します。	人権・男女共同参画推進室	市多文化共生センターが設置されたことにより、昨年度まで市人権センターで実施していた「国際理解～多文化共生の意識高揚を図る 世界の食を楽しもう：国際屋台村」を継承し、市に在住する外国人の方々の母国料理を紹介しつつ、食文化を通じて国際理解を進めます。 (変更) 隠街道市の開催に合わせて計画を進めていたところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となったため、新たな実施方法について検討しています。	隠街道市が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止されたため、市多文化共生センターによる国際屋台村の出店を中止しました。
	商工経済室	市内事業所の売上増加への支援の中で、食文化の魅力再発見は一つのツールと捉え、事業者へ提案していきます。	オンライン講座において事業者へ名張の食文化の魅力の再発見と食の多様性について重要性を啓発しました。 9月11日、18日、25日 「売れるお店づくり講座」 (19社22人)

4. 生産者と消費者との交流及び地産地消における食育の推進

(1) 農林業体験を通じた取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
農山村地域の持つ特性や資源を活用し、農山村地域と都市住民との農林業体験等を通じた交流を支援します。	農林資源室	「市民親子体験農業さつまいもづくり」を開催し、農家と都市住民の交流を図ります。	「市民親子体験農業さつまいもづくり」を開催し、農家と都市住民の交流を図りました。 6月14日 苗植付け 8月1日 除草作業 9月27日 収穫 (19組66人)
市民が、余暇、生きがい、教育、子育て、福祉等、様々な目的で「農」に触れあうことができるよう、体験等の場の創出を図ります。	農林資源室	市民農園を運営し、「農」に触れ合うことで余暇を楽しむ生きがいづくりを支援します。また、農福連携の取組を支援します。	・南古山及び上比奈知の市民農園を貸し出しました。(89区画) ・新田地内の市有地を福祉農園として活用を図り、農業と福祉の両分野の連携事業について、名張市障害者アグリ雇用推進協議会へ委託して実施しました。
農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援します。	農林資源室	農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援します。	農林業作業体験希望者を受け入れる生産者の情報の収集に努めました。
学校等での農林業体験学習や生産現場の見学学習の機会の充実を図ります。	農林資源室	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して森林環境教育を支援します。	小学校が実施する学校林整備事業やフィールドワーク学習等の森林環境教育推進事業、市内保育所と幼稚園を対象とした「みて・さわって・森のわくわく体験事業」を実施しました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」をきっかけとして、牛、ぶどう、メロンなど飼育・栽培の土地を訪れ、生産者の思いに触れる取組を進めます。	・ふるさと学習「なばり学」の一環で社会見学や校外学習でぶどう狩りを体験し、楽しみながら生産者の思いについて学習しました。 ・牛、メロンの飼育・栽培の圃場を訪問し、生産者から命の大切さや飼育・栽培の苦労等、お話しいただき学習しました。

(2) 生産者、食品関連事業者と消費者との交流に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
名張の農産物やその生産活動などを広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	名張市の農産物を各種媒体を活用し、紹介します。	青空ネット伊賀（青空市推進協議会）を活用し、市内の青空市、農産物直売所等の情報発信を行いました。
名張の農産物や加工品の即売会、マルシェ等のイベント開催の支援と情報発信を行い、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	農林資源室	生産者と消費者の交流イベント「とれたて！なばり2020」を開催します。 (変更) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「とれたて！なばり2020」の開催を中止しました。
	商工経済室	名張の農産物の直売施設である、とれたて名張交流館において、生産者が直接販売を行う「対面販売」企画を通じて、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	とれたて名張交流館において「対面販売」を実施しました。（18回）
食品関連事業者等は、消費者と接点を有していることから、食品関連事業者等が行う健康に配慮した商品やメニューの提供、食に関する情報や知識の提供といった活動の取組を支援します。	商工経済室	事業所魅力再発見事業を通じ、食育を意識した消費者交流の有益性を事業者に啓発します。	オンライン講座において事業者へ名張の食文化の魅力の再発見と食の多様性について重要性を啓発しました。 9月11日、18日、25日 「売れるお店づくり講座」 (19社22人)
魅力的な名張ブランドの物産品を広く消費者に紹介します。	農林資源室	「東海の農まるごと！特産品ナビ」等を活用し、名張ブランドを広く消費者に紹介します。	「東海の農まるごと！特産品ナビ」の活用し、伊賀牛、伊賀米、ぶどう、美旗メロンなどの特産品の情報発信を行いました。
	商工経済室	名張商工会議所が進めている「名張ブランド」確立を支援することによって、地元産品の広報活動を進めます。	名張商工会議所の政策特別委員会において助言や問題提起をし、「名張ブランド」確立の支援を行いました。

(3) 地産地消の取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。また、農産物直売所等の情報を、直売所マップや広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	伊賀ふるさと農業協同組合などと連携し市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。また、「青空ネット伊賀」など活用し、市内の農産物直売所の情報を紹介します。	・伊賀ふるさと農業協同組合等と連携し、とれたてなばり交流館やその他市内農産物直売所等の活用促進を図り、販売農家の支援を行いました。 ・青空ネット伊賀（青空市推進協議会）を活用し、市内の青空市、農産物直売所等の情報発信を行いました。
伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	農林資源室	伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	・伊賀米振興協議会や伊賀産肉牛生産振協協議会と連携し、地場産物の消費を促進しました。 ・コロナ禍の影響で消費が低迷した伊賀牛を市内小学校の学校給食として提供することで、地場産物を知る機会としました。
	商工経済室	名張の農産物の直売施設である、とれたて名張交流館での売上増が市内消費の増加と捉え、取扱量の増加と売上増を目指します。	とれたて名張交流館において、「名張農業積極応援のお店」事業を展開し、認定店（市内飲食店）が農産物を積極的・継続的に利用できる仕組みを構築することで、市内消費が増加しました。
農産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化の取組を支援します。	農林資源室	小規模農業者と農産物加工所が連携して行う6次産業化を支援します。	6次産業化に取り組む人や検討する人に情報提供等の支援を行いました。
	商工経済室	販路拡大を目指す6次産業化を進める事業者への支援として、商談会や販売機会の案内を含めた情報提供を行います。	商談会や販売機会の情報提供をした大部分が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりましたが、WEB等の商談会等、新たな実施方法を事業者へ提案しました。

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
学校給食等に地場産物を積極的に使用します。	教育総務室	生産者・納入業者と調整しながら、引き続き「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」を推進します。	「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行いました。 バリっ子給食（24回） みえ地物一番給食の日（20回） みえの畜水産物学校給食活用促進事業（6回）
名張の農産物の情報や調理方法などを発信し、地場産物の消費につなげます。	農林資源室	農産物加工講座を開催し、地元野菜を活用したジャム作りの方法を発信します。	・農産物加工講座を開催しました。 10月24日 「果物・野菜ジャム作り」（11人参加） ・2月に「肉みそ作り」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
	商工経済室	とれたて名張交流館での売り場造成の中で農産物情報や調理方法などをPOP等で表現し、売上増・消費増を目指します。	購買意欲を高める売場陳列や感染症対策を取り入れた売場作り、POPの書き方・見せ方、SNSの活用方法・キャッシュレス決済導入のメリット・デメリットを学ぶ講座を職員が受講し、売上増・消費増を図りました。

(4) 観光交流の促進や農山村の活性化に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
特産品である伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、お菓子などをはじめ、地元「食」を生かした観光資源の開発に取り組めます。	観光交流室	<ul style="list-style-type: none"> ・日本酒（地酒）と食のフェスタ「DON! BARIBAR2020」を開催します。 ・和菓子の食べ歩きプログラムの改良に取り組めます。 ・学生とのコラボにより、地元カフェの逸品探しとその情報発信に取り組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市観光協会の新企画「なばりでお菓子屋さんめぐり」がスタートしました。エリアを市内全域に拡大し、お菓子屋さん以外にも青蓮寺湖のぶどう狩りなども楽しめる食の周遊クーポンとなりました。 ・名張高等学校の学生が選ぶ市内のお薦めカフェが市観光協会ホームページで紹介されました。 ・「DON! BARIBAR2020」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
農山村地域の多様な主体が取り組む農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	農林資源室	条件不利地の農用地の生産活動を支援する中山間地域等直接支払制度や地域の共同活動を支援する多面的機能支払制度を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	<p>国の日本型直接支払交付金制度、三重県緑化推進協会（三重森林づくりと学びの里地域協議会）の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動の取組を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金（12組織） ・多面的機能支払交付金（24組織） ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金（3組織）

(5) 食品ロス削減の取組

施策の取組内容	担当室	令和2年度事業計画	令和2年度実施報告
イベントや環境学習等により、食品ロス削減の推進・啓発を行います。	環境対策室	各種イベントや環境学習、出前トークなどの場において、啓発を行うなど食品ロス削減を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で環境学習会を実施し、食品ロス削減の啓発を行いました。(3回) ・食品ロスをテーマとした出前トークを実施しました。(1回)
	市民相談室	エシカル工作教室等のイベントでのパンフレットの配布等で食品ロスの啓発を実施します。	<p>教育センターと連携し、週末教育事業でエシカル工作教室を実施し、講座にて食品ロスに関するパンフレット等を配布し啓発も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月19日 ラップの芯で万華鏡・ペン立て作り (大人11人 子ども14人 計25人) ・12月5日 水引細工でお正月の箸袋作り (大人13人 子ども15人 計28人) ・12月25日 トレイで年賀状用の版画作り (大人8人 子ども12人 計20人)
小売店や飲食店等に対し、食品ロス削減の協力依頼を行います。	環境対策室	<p>事業系食品ロス減少を図るため、食品ロス削減に協力いただける「完食!二十面相出没店」の登録拡大を目指します。</p> <p>(変更)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、登録拡大に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため「完食!二十面相出没店」登録拡大の取組ができませんでした。 ・市広報やごみ分別アプリを利用した啓発を行いました。